

# よかところ通信



2009年3月号

O2Farm【オーツファーム】 大津耕太&愛梨  
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587  
Tel&Fax : 0967-62-3730  
E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)  
O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/reisi](http://www.aso.ne.jp/reisi)  
バックナンバーID = o2farm

皆さん、お元気でしょうか。春ですね～

...と思いきや、阿蘇地方では3月14日に雪が降りました。しかも積もるほど！ほとんど満開だった梅や水仙の花たちはさぞかしびっくりしたことでしょう。起きたら一面の銀世界に私たちもびっくり。子供たちも喜び勇んで外に出たのですが、雪に慣れていないためか「冷たい～」と泣きながら数分後には帰ってきてしまいました。



その雪を最後に、一気に本格的な春が訪れました。春の風物詩といえば阿蘇ではタカナと野焼き。特にタカナはこの時期最大の関心事。ご近所さんとの挨拶は、「タカナとったね？」。本当にいいタイミングでとれるのはわずか数日で、それを過ぎると硬くなってしまいます。タカナの茎は、指でポキッと気持ちよく折れるので、「タカナ折り」と呼ぶ人もいます。タカナ漬けが大好きな子供たちもお手伝い。生後9ヶ月を過ぎた三男・さんたろうも採りたてのタカナをばりばり。けっこう辛みがあるのですが、歯ごたえがいいのでしょうか？

とったらずくに塩もみして漬けていきます。こちらの作業も子供たちの出番あり。彼らの体重くらいがちょうど良い重石になるのです。



今月は、O2ファームにとってめでたいことがありました。オーライ！ニッポン会議（都市と農山漁村の共生・対流推進会議）から「ライフスタイル賞」という賞を頂いたのです。...と言いましても、私たちもなんだかよく分からないのですが。友人に話したら、「え？お笑いニッポン？」と言われてしまいました。百笑を名乗っているのです、そちらの賞でも嬉しいですが（笑）。詳しいことは、ホームページでご覧下さい（<http://www.ohrai.jp/>）。なんでも、「農山漁村において、個性的で魅力的な新しいライフスタイルを実践している個人」ということだそうです。何はともあれ、賞を頂いたということでおめでたいのです！



授賞式には、帰省を兼ねて私が行きました。まあとにかく行くってわ、と気軽に参加したのですが、来賓には農林水産大臣や林野庁長官などのお偉いさんが並び、賞状は東京大学名誉教授で「バカの壁」著者の養老孟司さんから頂きました。壇上

にあがろうとしたら後追いをし泣き出した讃太郎を抱っこしたまま賞状を頂きました。「お子さま連れの授賞は初めてです」と事務局の方には言われましたが、「明るい未来、という雰囲気が出て良かったです！」と意外に好評でした。交流会では日本各地の農村で元気に活躍されている方々に接し、いい刺激を受けてきました。



さて話は変わりますが、コウタも先日舞台にあがりまして。「オーディション受けてくる」と唐突に宣言されてびっくりしたのは先月の終わり頃。演劇に興味なんかあったっけ！？とげげんに思っていると、「久しぶりにドキドキしてみたい」とコウタ。親しい友人が大道具の仕事に携わった舞台を見に行ったら予想外に面白かったのだということで、県立劇場が企画した朗読劇に参加することになったのです。2週間夜な夜な稽古場に通い、「土星の人」と「父」の二役を演じることに。舞台初日。

朝から緊張して何を話しかけても上の空なコウタ。そんな短い練習期間で、素人も入れた芝居がどんなものかと冷やかしかつ半分で、子供たちを実家に預けて私も観劇に出かけました。ところがところが。意外なストーリー展開にぐんぐんと惹き入れられ、上演1時間があっという間。帰りの車では知らず知らずのうちに劇中で流れていた天才バカボンの歌を口ずさんでいました。演劇の世界にすっかり魅せられたコウタは「半農半劇」もいいかも、なんて言いながら目を輝かせています。舞台俳優オーツコウタが誕生する日が来るのでしょうか！？



3月に入り、いよいよ米づくりの準備がはじまりました。まずは田んぼに堆肥を施し、種モミの芒(のぎ)取りなどなど。これから田植えまでは、田んぼの準備と苗の準備を平行して進めていきます。田植えの日程を最初に決めて、それまでに準備が整うよう段取りをします。4月に入れば毎日のように多様な作業が待っています。舞台も授賞式も終わり、本腰を入れていよいよ今年の米作り。去年よりさらにおいしいお米をつくれるよう、気を引き締めて頑張ります！

その他にも、春はやることがたくさん。シイタケの菌を原木に打ち付けたり、ジャガイモを植えたり、夏野菜の種をまいたり...。シイタケ菌の作業は、子供たちのお気に入り。菌を木に埋め込む作業が堂に入ったもの。ずいぶんお兄さんになったなあ、と思うことが多くなりました。



3月23日から南阿蘇村で始まる「一心行の桜祭」で、米粉のクレープを販売することになりました。その名も「こめこまき」。我が家のお米(玄米)を粉にして、あか牛とタカナを具にしたおかずクレープと、あんこ生クリームを入れたおやつクレープの2種類をつくりまします。銘木と言われる一心行の大桜を見に、ぜひ足をお運び下さい！

花粉症の皆さまにはツライでしょうが、それでも春は心が浮き立ついい季節。どうぞ楽しくお過ごしください。